令和４年１１月２５日～２６日の間、沖縄県那覇市、南城市及及び島尻郡与那原町において令和４年度緊急消防援助隊九州ブロック訓練が行われました。

この訓練は、大規模災害を想定した緊急消防援助隊としての活動を主眼に置き、例年九州各地で実施されており、今年度は初の沖縄県での実施となりました。

初の沖縄県での実施ということもあり、例年にない取り組みとして,民間航空機を活用した緊急消防援助隊の迅速な進出及び十分な資機材が持ち込めない中での沖縄県内消防応援隊との資機材の共用を目的として実施されました。

また、大規模災害想定ということで、九州各県の緊急消防援助隊、自衛隊、海上保安庁、、DMAT及びその他関係機関が参加し,これまでにない大規模な訓練となりました。

宗像地区消防本部からも３名出動し、福岡県大隊として以下の訓練を実施しました。

・民間機を活用した沖縄県への進出訓練、資機材輸送訓練
・エアーテント等を活用した野営訓練
・土砂埋没車両事故救出訓練
・土砂埋没家屋からの救出訓練

沖縄県では訓練前、数日にわたって雨が降り続き、地盤が緩んでいたということもあって、要救助者の検索にあっては手堀り、スコップでの堀削作業と大変な作業でしたが、福岡県大隊として現場指揮者を中心に統率のとれたとても充実した訓練となりました。

訓練を開催してくださった関係者の方々、訓練を実施した各防災機関の方々、また付近住民の方々に深く感謝するとともにこれからも宗像市、福津市のみならず各地で起こる災害に対応するため、日々の訓練に取り組んでいきます。